

したる爲め、末法の徒は、濫りに教祖の遺訓經典を楯とし、屢、叛亂を企圖し、國土人民を蠱毒するが如き弊害あり。然れども喇嘛教徒に比すれば、回教徒は稍、優るものの如し。

喇嘛教は、其の教理甚だ深遠なるも、之を我國の眞言宗に比較すれば、稍、淺薄なるが如き感あり。其の宗教上の儀式、若くは道德の如きも、甚だ固陋にして世界の進歩に伴はざるは、言を俟たず。又其の布教の方法、喇嘛の教育法竝に不備にして、到底今後の社會に立て、斯教の擴張を爲し得べき機能あるを見ず。殊に目下其の教徒間に、弊害多きも、社會を裨益するもの少なし。何を以て之を言ふか、曰く蒙古族をして、貧窮の境遇に陥らしむるが如き、或は厭ふべき姦通、忌むべき毒殺の惡風を助長するが如き即ち是れなり。

第四節 基督教及在理教

以上縷述したる如く、新疆省に於ては回教、喇嘛教の外、他に宗教として觀るべきものなし。彼の夙に東漸して、勢力を扶植しつゝ、在る基督教は、早く支那に侵入し、